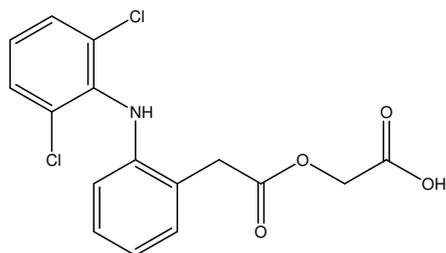
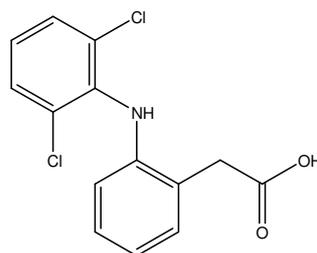


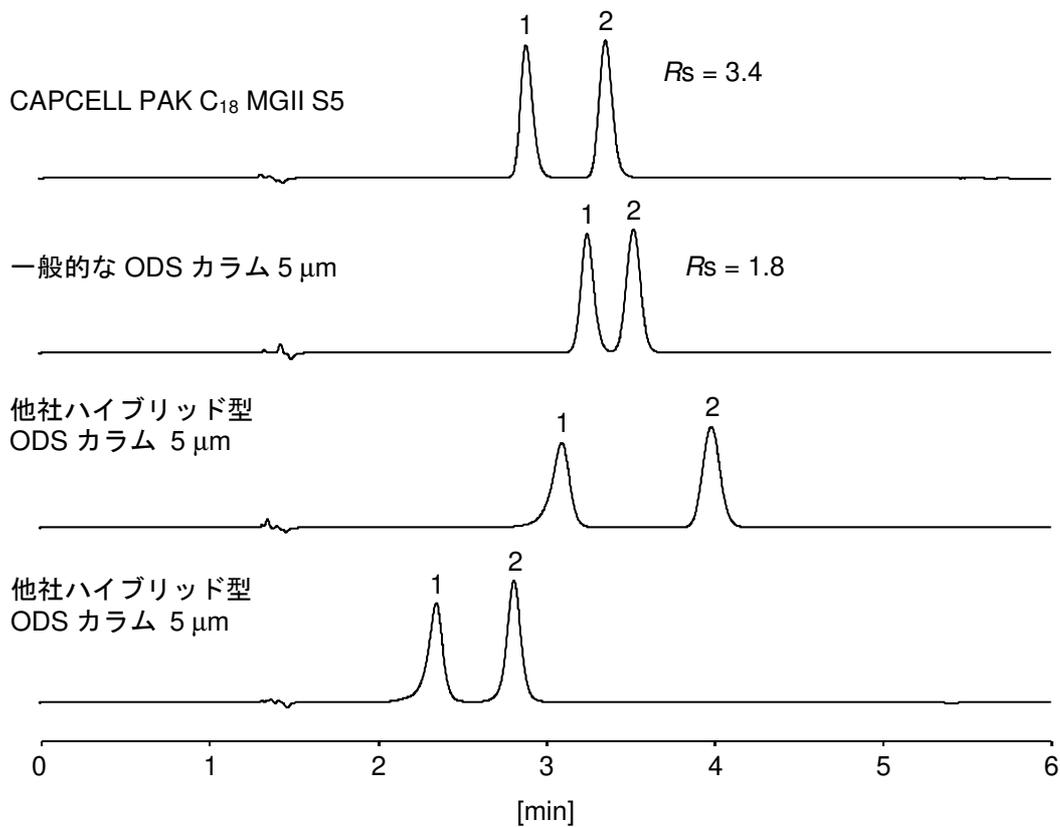
ジクロフェナク、アセクロフェナクは共にフェニル酢酸系の非ステロイド性抗炎症剤 (NSAIDs) です。アセクロフェナクはジクロフェナクの誘導体ですが単なるジクロフェナクのプロドラッグではなく独自の代謝機構をもち、ジクロフェナクよりも消化管に対する副作用が低減されているユニークな薬剤です。ここでは化学構造のよく似たジクロフェナクとアセクロフェナクを CAPCELL PAK C<sub>18</sub> MGII S5 (4.6 mm i.d. x 150 mm)、一般的な ODS カラム及び他社ハイブリッド型 ODS カラムで分析した例を示します。一般的な ODS カラムと比べて CAPCELL PAK C<sub>18</sub> MGII では高い分離度を示しました。また他社ハイブリッド型 ODS カラムではアセクロフェナクのピーク形状がリーディングする傾向を示しましたが、CAPCELL PAK C<sub>18</sub> MGII では良好なピーク形状が得られました。



1. アセクロフェナク (100 µg/mL)  
Aceclofenac (M.W. 354.2)



2. ジクロフェナク (100 µg/mL)  
Diclofenac (M.W. 296.1)



【HPLC Conditions】

Column size : 4.6 mm i.d. x 150 mm  
 Mobile phase : 10 mmol/L HCOONH<sub>4</sub> (adjusted at pH 3 with formic acid) /  
 CH<sub>3</sub>OH = 20 / 80  
 Flow rate : 1 mL/min  
 Temperature : 40 °C  
 Detection : UV 254 nm  
 Inj. vol. : 10  $\mu\text{L}$   
 Sample dissolved in : CH<sub>3</sub>OH  
 ※ 1  $\mu\text{g}/\text{mL}$  = 1 ppm